



ひとなる



白川を愛し、たくましく心のあったかい子を育む美濃白川

鍛えの場・芽生えを培う場・やすらぎの場・広がりの場

令和4年度町内小中学校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



白川保	白北保	蘇原保	黒川保	佐見保	光の子保
10	3	3	10	1	8
白川小	蘇原小	黒川小	佐見小		
13	16	10	6		
白川中	黒川中				
35	9				



3月7日（火）に町内2つの中学校、3月23日（木）には町内4つの小学校で卒業式が行われ、それぞれ次のステージに向けて、第一歩を踏み出しました。小学校の卒業式では、晴れやかに堂々と入場する姿や卒業証書を受け取る凛とした眼差しから、6年間の大きな成長を感じました。中学校の卒業式は、義務教育を修了する卒業生たちの誇りと自信に満ちた表情から、将来に向けた力強い志を感じました。思い返すと3年前の中学校のスタートは新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校からの始まりでした。行事や様々な教育活動の中止や延期、縮小が求められ、不自由さを感じるが多かったと思います。それでも下を向くことなく、自分たちにできることを最大限に考え、前に進んできました。苦しい時を共に支え合い、数々の困難を乗り越えてきた仲間との別れ、そして、これまで自分を支えて下さった人々への感謝が溢れる感動的な卒業式となりました。44名の卒業生は、新しいステージで、ふるさと白川で培った力を思う存分発揮し、将来の夢の実現に向けて、羽ばたいてほしいと思います。

また、3月24日（金）には、町内すべての保育園にて卒園式が行われました。可愛らしくも逞しく見える表情の園児達が、小学生への憧れを抱いて卒園しました。



離任式 ～先生方との別れ～

3月24日に各学校で離任式が行われ、白川町内では、21名の先生方との別れがありました。本当にお世話になりました。新天地でもがんばって下さい。



白川中	黒川中	令和5年度 白川町			
34	10	入園・入学する子どもたち			
白川小	蘇原小	黒川小	佐見小		
12	10	10	1		
白川保	白北保	蘇原保	黒川保	佐見保	光の子保
23	18	9	23	7	15



保育園については全園児の人数です。(入園年齢が異なるため)

白川町内入学式・入園式のご案内

- 《町内中学校》 令和5年4月7日(金) 午後
- 《町内小学校》 令和5年4月7日(金) 午前
- 《白川・白川北・黒川・佐見・光の子保育園》
令和5年4月6日(木) 午前
- 《蘇原保育園》 令和5年4月5日(水) 午前



白川町教育夢プラン

白川町第6次総合計画(2021~2028年度)

『活力』をカタチにみんなの思いが 生きる つながる 広がるまち 白川町

教育から見ためざす町の姿

<ふるさと愛を育み次世代のまちづくりに活かす>



めざす子ども像

- ◇ 求め学び磨く楽しさを知る子
- ◇ 「共生」を心に刻み歩める子
- ◇ ふるさと白川を愛する子



《基本方針の三本柱》

- ・ 0歳から15歳までの一貫教育の仕組みと内容の創造
- ・ 存在感あふれる白川の子どもと保育園・学校の創造
- ・ 子どもの豊かな成長に貢献できる家庭や地域社会の創造



学校 (鍛えの場)

めあてをもち、継続・反復・活用・挑戦

- ◇ 「志の芽」と気骨の育成
- ◇ 教科の基礎基本の修得
- ◇ 人間関係の基礎基本の修得
- 師たるを自覚し、自己研鑽する教師

家庭 (やすらぎの場)

団らん、食事、共同体験、安定感

- ◇ 愛の体感と自己肯定感の体得
- ◇ 人間関係の基礎基本の体得
- ◇ 基本的な生活習慣(心と体)の体得
- 子育ての喜びを味わい歩む保護者

保育園 (芽生えを培う場)

人や自然に浸る体験、安定感

- ◇ 豊かな感性・創造性の土台を培う
- ◇ 人間関係の基礎基本の習得
- ◇ 基本的な生活習慣(心と体)の習得
- 親子の成長を支援する保育士

保健事業・乳幼児期家庭教育学級

子育てに喜びと自信を育む場

- ◇ 家庭の役割と喜びの喚起
- ◇ 乳幼児に愛の体感と自己抑制力の育成
- ◇ 子育てのネットワークの充実

地域 (広がり)の場)

- ◇ 知的好奇心や追究力を磨く
- ◇ 人間関係づくりの拡大
- ◇ 育ちの原点「ふるさと」を心に刻む

文化活動、スポーツ活動、子ども会活動などでの人や自然の広がり



■ 子育て応援団を自覚する地域住民

☞ 次代への還元をめざす生涯学習 ☞ 次代のための豊かなふるさと創り ☞ 次代につなぐリーダーづくり

鶯のさえずり (「ひとなる」編集日記)

日本の4月という各地域でお祭りが開催される時期であります。ここ数年は新型コロナウイルスの影響を受け、中止となっていたお祭りも今年は開催されることが多いようで、白川町でも各地域からにぎやかな話が聞こえてきます。わたくしの地元でも大きなお祭りがありますが、4年ぶりに開催されることが決定し、お囃子の練習に日々励んでいるところです。しかし、中止となっていた間に、いろいろなこと(お囃子の曲や演奏の仕方、儀式的流れ、行程等)を忘れてしまっており、一旦、中止としたことを復活させるために、かなりの労力を要しました。今回のことを経て、「伝統あるものを継承していく」とはどうあるべきかを改めて考えるよい機会となりました。

白川町で3回目の春を迎えたK鶯